

今年

子^ね

年です



幸多き一年となりますように

令和2年は子年。鶴岡市で鼠ねずみと言うと、温海地域の鼠ヶ関が思い浮かびます。新潟との県境に位置し、かつては蝦夷えぞ対策として関所が置かれていました。白河関・勿来関とともに奥羽三関と呼ばれた、東北地方の玄関口です。

鼠ヶ関の地は数々の文献や作品に登場しますが、その呼ばれ方は様々です。源義経の生涯を描いた『義経記』では「念珠の関」、松尾芭蕉の『おくのほそ道』では「鼠の関」とされています。『ねずみ(ねず・ねんじゅ)』の由来については、「子(ね・北)の津(つ・港)」「寝ずに見張り番をした関所」「海岸に連なる小島を念珠(数珠)に例えた」など、諸説あるようです。文中の写真は県境付近にある「鼠喰岩ねずみかじりいわ」です。数多く空いた穴が、鼠がかじったように見えることから、その名で呼ばれているのだとか。地名の由来の一つとも言われています。



鼠喰岩

「袋の鼠」「大山鳴動して鼠一匹」のように、追い詰められて逃げ場のない状態や、大したことがない様の例えに使われる鼠。実際の鼠は、繁殖力が強く、環境適応能力が高いという特徴があります。体は小さくとも強い生命力をもつ鼠のように、日々を健やかに過ごしていきたいものですね。

今年が皆さんにとって、たくさん良いことが積み重なる年でありますように。